

「第43回環境工学研究フォーラム」発表論文募集

下記のとおり第43回環境工学研究フォーラムを開催致します。昨年度より審査付論文セッション、自由投稿発表セッション、新技術・プロジェクトセッションの投稿申込を原則的に電子登録としました。電子登録期間に留意してください。また、本年度より、論文・発表のタイトル・著者の登録後の変更は、環境工学委員会の指示による場合を除き原則として認められませんのでご注意ください。さらに、審査付論文では、論文フォーマット、原稿作成要領および超過ページ代等の論文著者負担金に大幅な変更がある予定です。詳細は決定次第、環境工学委員会ホームページに掲載します。

記

- 1.主 催：土木学会（担当：環境工学委員会）
- 2.開催日：11月17日（金）～19日（日）
- 3.場 所：函館大学（〒042-0955 函館市高丘町51番1号） <http://www.hakodate-u.ac.jp>
宿泊施設---函館大学・函館空港の近くに位置する湯の川温泉が便利
・7月頃Web上で旅行案内を掲示する予定です。

4.部門構成など

(1) 審査付論文セッション（公募による）

独創性があり、理論的または実証的な研究あるいは特色ある調査・施工・現場実測などの報告で、新しい技術的な知見を含み、工学的に価値の高いものであって、論文として完成しており、かつ未発表のものが該当する。論文は「環境工学研究論文集」に登録され、審査を通過したことが明記される。口頭による研究発表を行う。

(2) 自由投稿発表セッション（公募による）

各研究発表者が発表に値すると考え、参加者との意見交換を行いたいと考える研究・報告である。この発表は要旨のみの審査により、「環境工学研究フォーラム講演集」に登録される。発表方法は、ハイブリッド方式（後述）による。

(3) 新技術・プロジェクトセッション（公募による）

新しい技術やシステムの紹介、地方自治体等での大規模プロジェクトの紹介、新しい設計例・設計手法の紹介、新しい環境創造・管理方法や考え方など、特に民間分野および地方自治体での up-to-date な情報を紹介し、意見の交換を図ることを意図した報告である。この発表は要旨のみの審査により、「環境工学研究フォーラム講演集」に登録される。発表方法は、ハイブリッド方式（後述）による。

(4) 企画セッション（公募による）

本フォーラムをより魅力的で、活発な集まりとするため、テーマ、発表者、討議形式などをあらかじめ企画し、事前に周知する企画セッションを開催する。このセッションの企画は公募により募るものとする。セッションの企画としては、広く関心の持たれている環境分野の課題についてのパネルディスカッション、若手研究者間での類似事象に関する集中討議、招待講演者による特別講演、開催地域の環境問題に関する報告会、グループの研究成果についての総合

的発表などが考えられるが、応募者の斬新なアイデアを歓迎する。

5. 論文募集要領

(1) 審査付論文セッション：

論文投稿申込は原則的に電子登録とする。論文原稿の提出は下記の必要部数を郵送する。

論文投稿申込

環境工学委員会ホームページ < <http://www.jsce.or.jp/committee/eec/> > より下記期間内に登録を行う。登録後のタイトル・著者名の変更は、環境工学委員会からの指示による場合を除き原則として認めない。

電子登録期間：5月9日(火)～5月24日(水)17時まで 申込後に登録完了通知メールが届きます。

論文原稿提出

提出締切：5月26日(金)当日消印有効(簡易書留の郵送に限る)。期限に遅れた原稿は受理しない。

提出部数：論文原稿4部と電子登録後に届いた登録完了通知メール(1部)をプリントアウトし原稿に同封すること。

提出先：〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)
土木学会 環境工学委員会 宛

論文原稿の作成要領

今回から、論文のフォーマットが大幅に変更される予定であり、詳細が決定次第、新しい原稿作成要領ならびにひな型を環境工学委員会ホームページ上に掲載するので注意すること。論文は、ページ数により論文著者負担金がある(採択後請求。昨年度は、刷上がり6頁以内は無料、刷上がり7頁以上12頁までは1頁につき5,000円であったが、この金額については今年度改訂予定で、新料金は4月下旬に環境工学委員会ホームページにて公開する)。

論文は未発表のものでなければならず、既発表の内容を一部含む場合は、どの部分がどの刊行物に発表されているかを明記すること。

応募論文間の内容に関連性が強く、しかも著者が著しく重複するような複数の論文の応募は認められない。

論文の採否は、環境工学委員会論文集小委員会にて査読を行い決定する(8月上旬)。採用が決定した論文については、著者が鮮明なワープロ印字を行い、オフセット用の原稿を提出すること。なお、原稿の提出締切は9月28日(木)必着とする。原稿は「環境工学研究論文集」に登載される。

(2) 自由投稿発表セッション：

発表申込は原則的に電子登録とする。登録後のタイトル・著者名の変更は、環境工学委員会からの指示による場合を除き原則として認めない。

発表申込(電子登録)

環境工学委員会ホームページ < <http://www.jsce.or.jp/committee/eec/> > より下記期間内に登録を行う。

電子登録期間：6月6日（火）～6月21日（水）17時まで 申込後に登録完了通知メールが届きます。

土木学会年次学術講演会で発表予定あるいは既発表の講演と類似のものは避けること。発表の採否の決定は、環境工学委員会論文集小委員会が行う（8月上旬）。採用が決定した発表については著者が鮮明なワープロ印字を行い、オフセット用原稿を提出すること。なお、原稿の提出締切は9月28日（木）必着とする。原稿は「環境工学研究フォーラム講演集」に登載される。論文の長さは刷上がり1-3頁とする。作成にあたっては環境工学委員会ホームページ <<http://www.jsce.or.jp/committee/eec/>>にある原稿執筆要領・書式見本または昨年度の「環境工学研究フォーラム講演集」を参考にすること。

発表はハイブリッド方式で行う。この方式は5分程度の短い時間の口頭発表による概略説明に続いて、ポスター発表による詳細説明と討議を行うものである。与えられた時間は発表件数にもよるが、昨年の例では、約10件程度の発表を1つのグループとし、各5分間の口頭発表を続けて行った後、ポスター発表会場にて60分間の討議を行った。ポスター展示の可能な大きさはタテ180cm、ヨコ120cm（予定）である。

論文著者負担金は無料。

- (3) 新技術・プロジェクトセッション：発表申込，原稿作成，発表方式とも上記(2)自由投稿発表セッションに準じる。論文としてはまとめにくいような報告も歓迎する。

6. 企画セッション募集要領

企画セッションは、第43回環境工学研究フォーラムの開催期間中に実施するものとし、一つの企画の時間枠は2時間程度とする。複数の企画セッションを同時に開催することもあり得る。

企画応募締切日：5月26日〔金〕必着

企画セッションの応募方法

A4判用紙1枚に(a)セッションの名称，(b)セッションの目的，(c)企画セッションの内容：運営方法，時間等，(d)発表予定者，(e)連絡先を記入し、環境工学委員会あてに1部送付すること。E-mailで書類を添付する場合は、Microsoft Wordで作成すること。論文の採否の決定は、環境工学委員会が行う。企画セッションに採択された場合には、企画提案者は当フォーラムの準備スケジュールに従い、セッションの企画・立案を行うものとする。

7. 原稿提出先および問合せ先

土木学会環境工学委員会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目（外濠公園内）

TEL：03-3355-3559 / FAX：03-5379-0125

E-mail：ssk@jsce.or.jp

事務局担当：佐々木淳

8. 発表論文の表彰

「審査付き論文セッション」の発表の中から論文賞と奨励賞を、また「新技術・プロジェクトセッション」の発表の中から新技術・プロジェクト賞を、「自由投稿発表セッション」のポスター発表の中から優秀ポスター発表賞をそれぞれ選考して表彰する。